



令和6年11月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

東部地区漁業士会総会・行政との意見交換会が開催されました

10月18日、東伊豆町稲取で東部地区漁業士会総会が開催され、その後、行政との意見交換会が行われました。

総会では、指導漁業士の定年を迎える高田充朗会長（伊東）の後任選出の議事があり、新会長として岩瀬清敏氏（稲取）が選ばれました。

行政との意見交換会では、当场職員から「キンメダイ矢筈出し漁場の地形調査結果と小型魚放流後の採捕結果」、「伊豆半島各地で進む海業等の取組」について話題提供を行い、それぞれ、現場の状況説明や課題の解決に向けた活発な意見交換が行われました。

この会は、地区の漁業者の取組や課題を行政側に知ってもらい、課題解決に向けた意見



↑写真：意見交換会の様子

をお互いに出し合う場として設けています。

当日話し合った結果が、伊豆半島の漁業現場の力になるよう、分場としても支援を継続していきたいと思っております。

定置網漁業体験

（伊豆いとう地魚王国主催イベント）

伊豆いとう地魚王国は、飲食店や漁協などが集まり、伊東の魚の魅力を発信している団体です。今回、観光定置網を実施している富戸定置網で、会員向けの定置網体験ツアーが10月25日に開催されました。毎日のように魚を扱っている飲食店主も、網の中を泳いでいる状態の魚を見たのは初めての人もおり、良い経験だったと興奮気味に感想を述べていました。地域の宿泊施設や飲食店などと連携すれば、さらなる地域の活性化につながる良い事例になると思います。



↑写真：定置網で魚を取り上げる様子

下田中学校3年生が当场で職業体験

10月24～25日に下田市立下田中学校の3年生2名が、「職業体験学習」の一環として当场の仕事を体験しました。当场では磯焼け対策に関する業務に注力していることから、中学生には本業務に関する仕事として、近年増加傾向にある海藻を食べる生物（ブダイ、ムラサキウニ）の解剖や、磯焼け状態の海域に移植する海藻（カジメ）の幼体の準備作業などを体験してもらいました。2名とも当场の仕事に興味をもち、積極的に楽しく取り組んでくれました。この体験をきっかけに、将来、当场や水産関連の仕事に就きたいと思っていたら嬉しく思います。



↑写真：ブダイの解剖を体験

11月の予定 ●イセエビ測定 ●キンメダイ親魚採捕調査（南伊豆） ●相模湾シンポジウム（1日小田原） ●漁業者交流大会（15日焼津） ●イセエビ資源評価調査検討会（18日WEB） ●キンメダイ漁場調査（19～21日駿河丸） ●漁業士認定委員会（25日静岡） ●関東・東海漁業士ブロック研修会（26～27日横浜）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当场には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。